

2024年2月28日
6633 TSE Standard

2023年12月期 決算説明動画配信

株式会社 C & G システムズ

目次
Index

01	会社概要	…3
02	2023年12月期決算概要	…12
03	中長期事業方針	…19
04	2024年12月期 通期業績見通し	…25
05	株主還元について	…29

01

会社概要

会社概要

会社概要

商号	株式会社C & Gシステムズ（6633）
主力事業	金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート
所在地	（東京本社） 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F （北九州本社） 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 （2023年度）	売上高：38億26百万円 営業利益：90百万円
事業所	国内7拠点 （東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本/仙台） 海外2拠点（インドネシア、ベトナム） 海外事業子会社3社 （タイ/カナダ/米国 [金型製造]） 海外総代理店3社（韓国/中国/台湾）
連結社員数	250名（2023年末現在）

国内外ネットワーク

東アジア（各国代理店）

韓国：IGPNET社
中国：Shanghai C.J
System
Technology社
台湾：Createwell社

アセアン

タイ：CGS ASIA（子会社）
インドネシアテクニカルセンター
ベトナムテクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシア
テクニカルセンター



ベトナム
テクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
大宮支店
東北オフィス
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部



東京本社



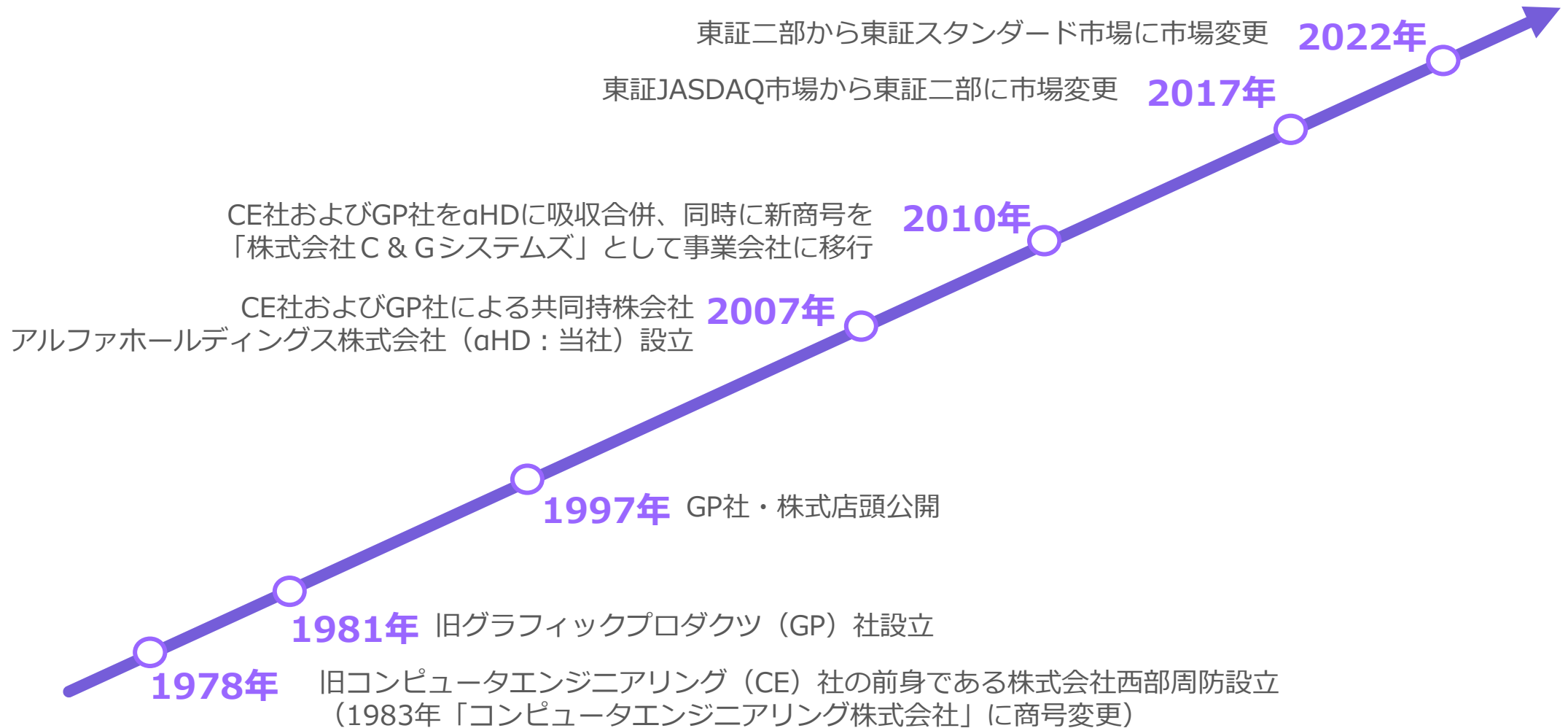
北九州本社

カナダ

CGS CANADA（子会社）

米国（金型製造事業）

Tritech International, LLC



Mission Statement 社是

生産性の限界に挑戦する

Management Philosophy 経営理念

技術立国日本を代表するCAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。

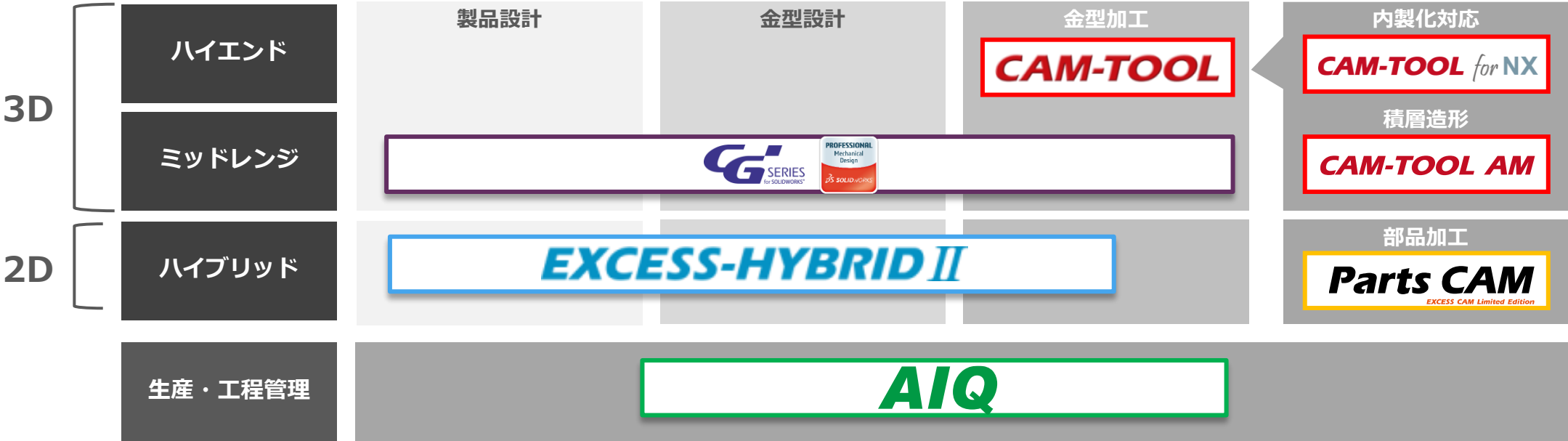
Growth Strategy Theme 成長戦略テーマ

Global Niche Top

～「金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す～

主要製品および導入実績

製品ポジショニングマップ



累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

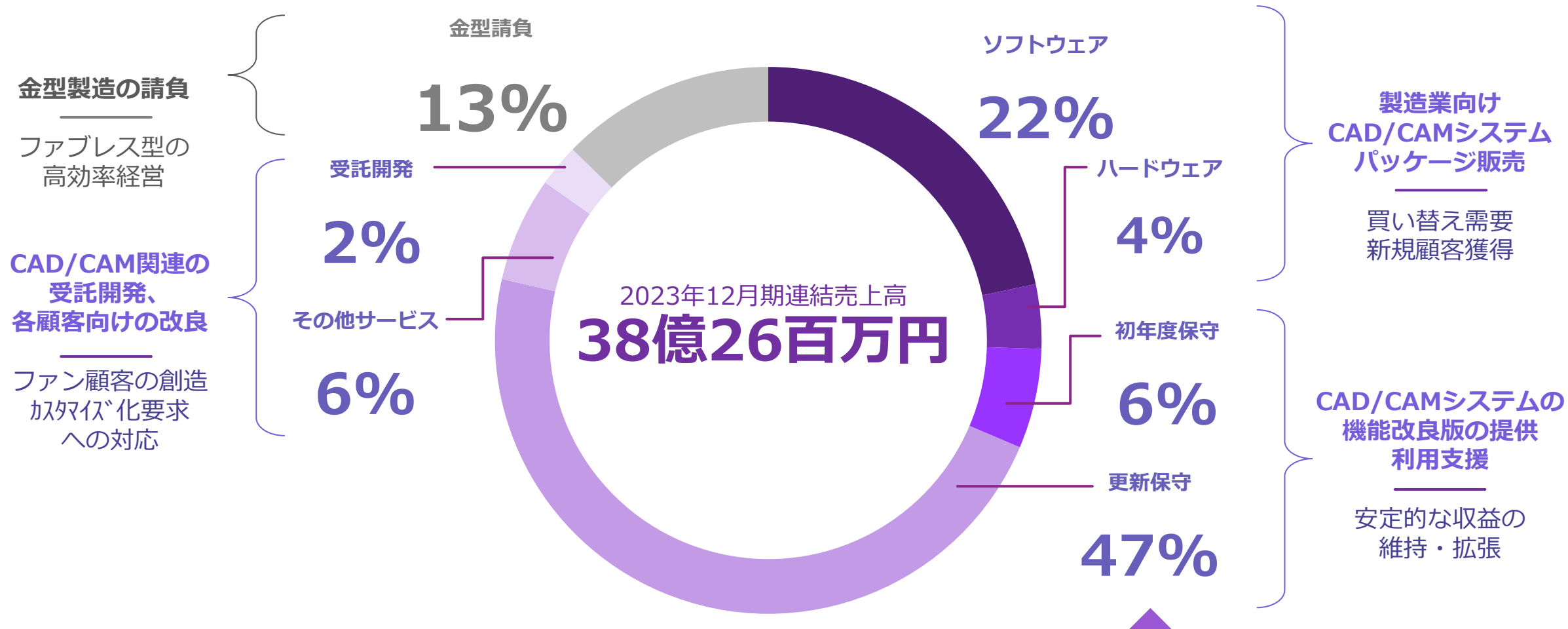
国内
6,000
事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 TMW デンソー ヤマハ発動機 三光合成 三菱重工 マツダ
深江工作所 三井ハイテック タカギ エスバンス パナソニック オムロン シマノ がまかつ
CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気
本田技研工業 アルプスアルパイン ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外
1,000
事業所

LG電子 サムソン電子
現代自動車 DOOSAN機械
FOXCONN teleflex
Medical
友達光電 AMTEK

主力事業：金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート



CAD/CAMシステム等事業の約5割を更新保守で構成

地域別（仕向地別）売上高

連結売上高 38億26百万円
(2023年12月期)

日本
CAD/CAM
74.2%

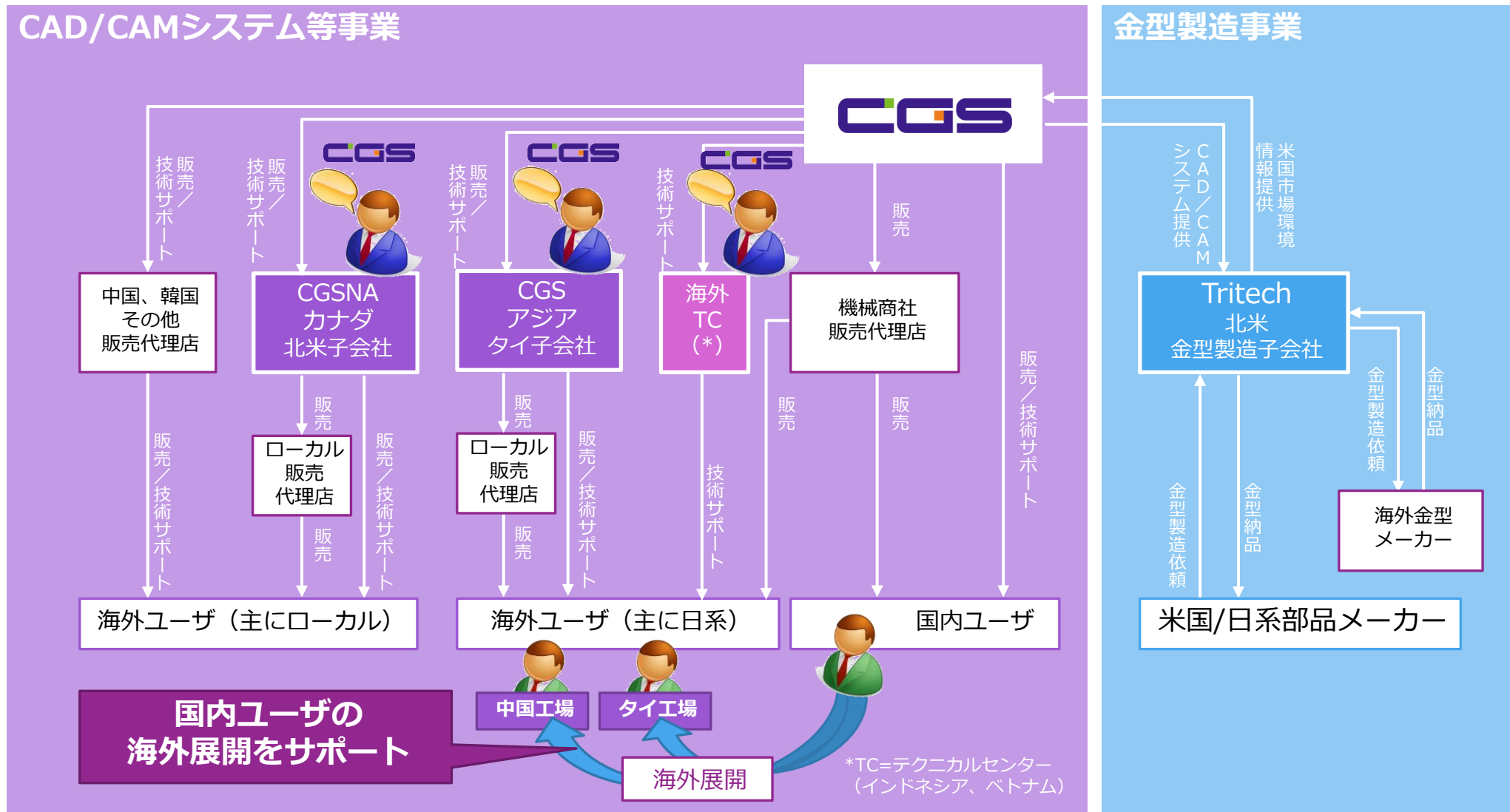
アジア
CAD/CAM
10.5%

北米その他
CAD/CAM
2.6%

北米金型
12.7%

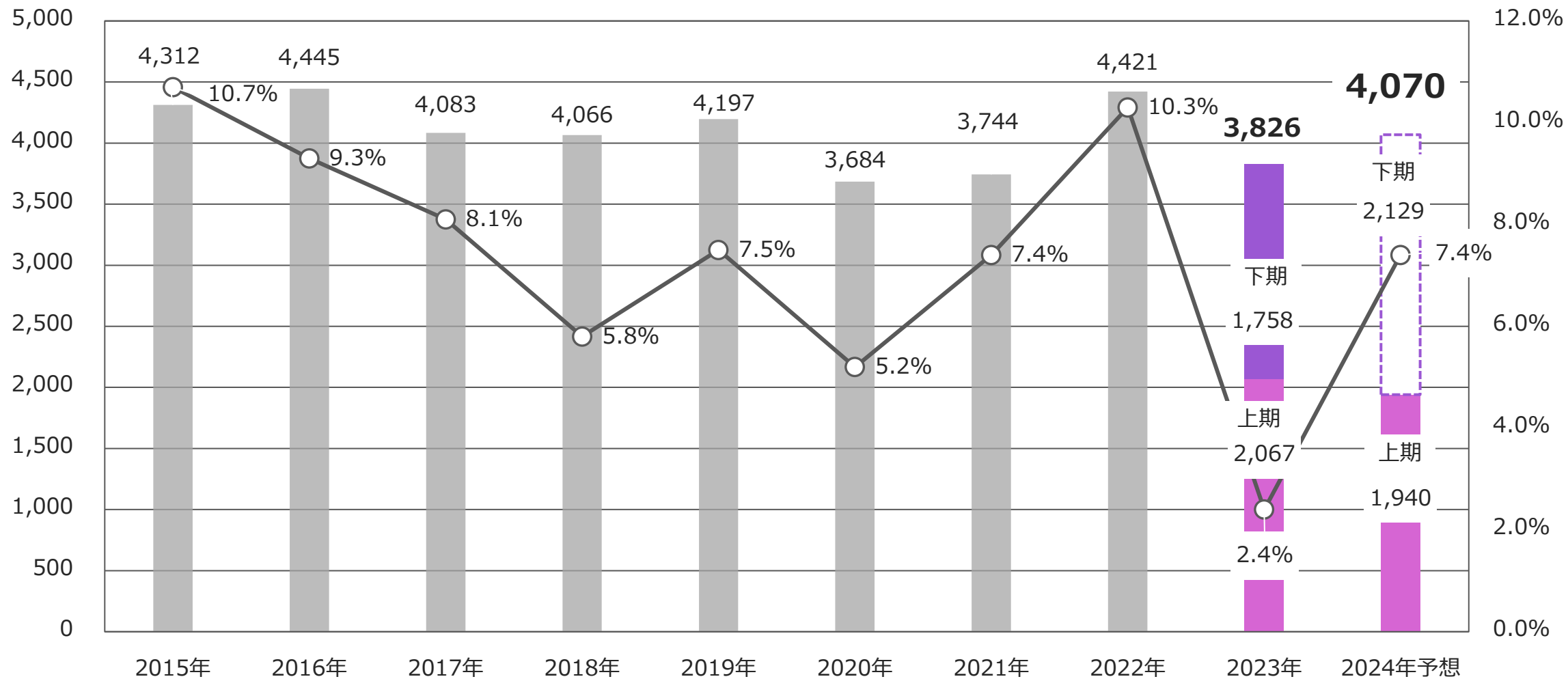
- ・ 海外販売割合（仕向地別）は25.8%（2023年12月時点）
- ・ 海外については技術代理店、事業拠点の拡充による地域完結型事業モデルを推進

事業系統図



連結業績の推移

(百万円)



売上高 営業利益率

02

2023年12月期 決算概要

金型製造事業の売上減少に加え下期以降CAD/CAMシステム販売も低調に推移

売上高

38億26百万円

前年同期比 △13.5%

営業利益

90百万円

前年同期比 △80.1%

CAD/CAMシステム等事業

- ・ 上期は国内海外ともに半導体・精密電子部品の需要増を背景に主力製品である2次元/3次元融合型CAD/CAMシステム「EXCESS-HYBRID II」の販売が堅調に推移
- ・ 下期以降、自動車のEV化および半導体の在庫調整等の影響を受け、自動車向け金型・部品製造業の多くが設備投資を抑制、製品販売が低調に推移
- ・ 保守更新率は引き続き堅調に推移するも製品販売の落ち込みをカバーするに至らず

金型製造

- ・ 2022年下期～2023年上期にかけEVシフトの影響により新車種開発が減少、加えて従来車種のモデルチェンジサイクルの谷間となり受注が低調に推移

CAD/CAMシステム等事業

- ・ 営業費用がコロナ前の水準に戻ったことにより大きく増加、利益を圧迫

金型製造事業

- ・ 売上減による減益

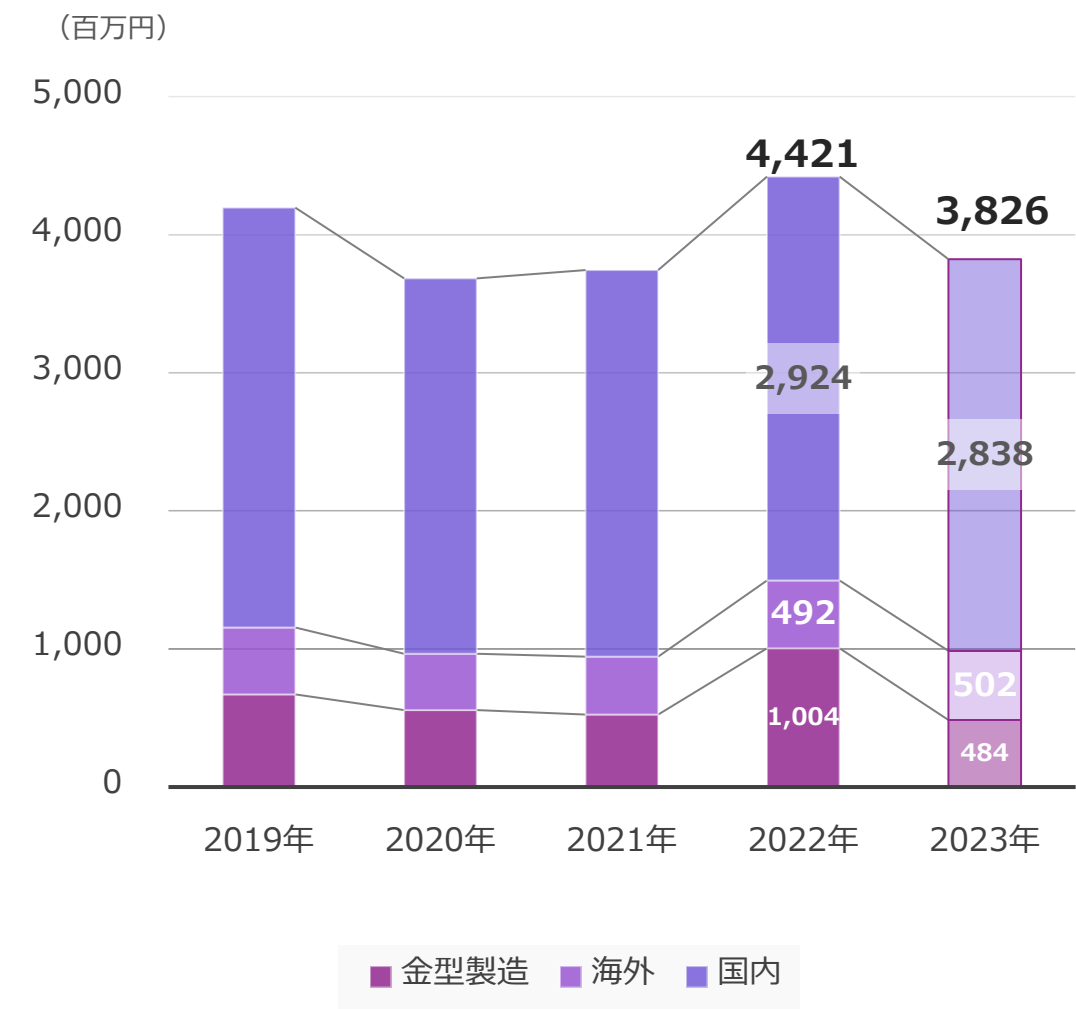
業績概要

	2023年 実績	売上比	2023年 当初予想	当初予想比		2023年 修正予想 (11/14開示)	修正予想比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	3,826	100.0%	4,131	△305	△7.4%	3,796	+30	+0.8%
営業利益	90	2.4%	311	△220	△70.9%	57	+33	+57.4%
経常利益	150	3.9%	349	△198	△56.9%	125	+25	+20.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	68	1.8%	208	△140	△27.8%	62	+6	+9.8%

		2022年 期末	2023年 期末
為替 レート	ドル	132.70円	141.83円
	バーツ	3.80円	4.13円
	カナダドル	97.89円	107.24円

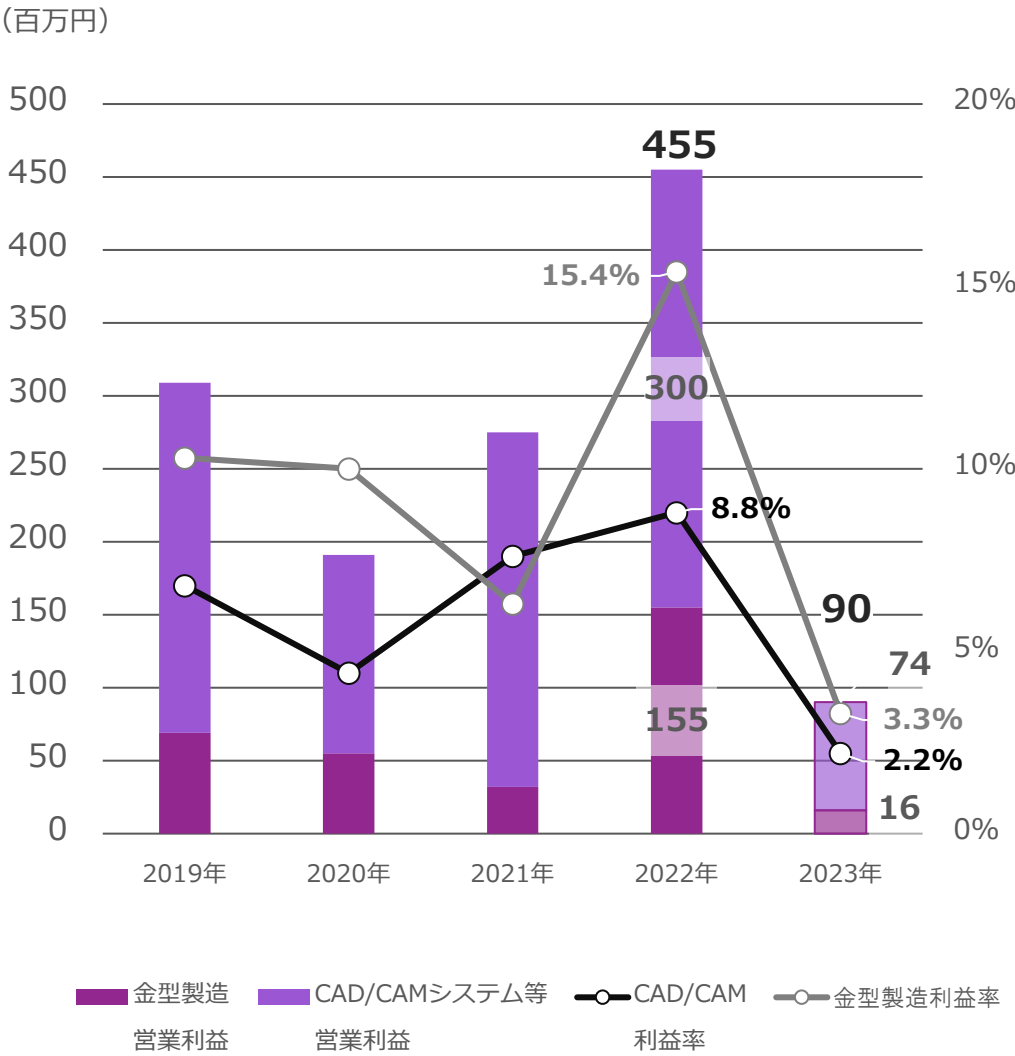
	2022年 実績	前年同期比	
		増減額	増減率
売上高	4,421	△595	△13.5%
営業利益	455	△364	△80.1%
経常利益	512	△361	△70.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	293	△225	△76.7%

事業セグメント別売上高の推移（仕向地別）



売上高 (百万円)	2022年	2023年	売上比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	3,417	3,341	87.3%	△75	△2.2%
国内	2,924	2,838	74.2%	△85	△2.9%
海外	492	502	13.1%	+9	+2.0%
金型製造	1,004	484	12.7%	△519	△51.7%
合計	4,421	3,826	100.0%	△595	△13.5%

事業セグメント別利益の推移



科目 (百万円)	2022年 【実績】	2023年 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	3,417	3,341	△75	△2.2%
営業利益	300	74	△225	△75.2%
営業利益率	8.8%	2.2%		
金型製造				
売上高	1,004	484	△519	△51.7%
営業利益	155	16	△138	△89.5%
営業利益率	15.4%	3.3%		
合計				
売上高	4,421	3,826	△595	△13.5%
営業利益	455	90	△364	△80.1%
営業利益率	10.3%	2.4%		

連結貸借対照表

自己資本比率55.0%で前年同期比+1.9pt

(百万円)	2022年末 実績	2023年末 実績	増減
資産合計	5,734	5,584	△150
現金及び預金	2,999	2,807	△192
その他流動資産	839	738	△100
固定資産	1,895	2,038	+142
負債合計	2,593	2,457	△135
流動負債	1,248	1,076	△171
固定負債	1,345	1,381	+35
純資産	3,140	3,126	△14
負債・純資産合計	5,734	5,584	△150
自己資本比率 (%)	53.1%	55.0%	+1.9pt

資産の部：△1億50百万円
 ・投資有価証券+79百万円
 ・保険積立金+84百万円
 ・現金及び預金△1億92百万円
 ・受取手形、売掛金及び契約資産
 △57百万円
 ・電子記録債権△47百万円

負債の部：△1億35百万円
 ・契約負債△28百万円
 ・未払法人税等△65百万円

純資産の部：△14百万円
 ・利益剰余金
 +純利益計上 68百万円
 △配当金支払 1億24百万円
 ・その他有価証券評価差額金+56百万円
 ・為替換算調整勘定+29百万円
 ・非支配株主持分△43百万円

連結キャッシュ・フロー計算書

	2022年	2023年
営業活動によるキャッシュ・フロー	411	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139	△179
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	32
現金及び現金同等物の増減額	244	△192
現金及び現金同等物の期首残高	2,720	2,964
現金及び現金同等物の期末残高	2,964	2,772

フリーキャッシュフロー	331	△45
-------------	-----	-----

営業CF

- 税金等調整前当期純利益1億50百万円
：各事業の利益貢献

投資CF

- （減少）有形固定資産の取得による支出
75百万円
- （減少）保険積立金の積立による支出
1億22百万円

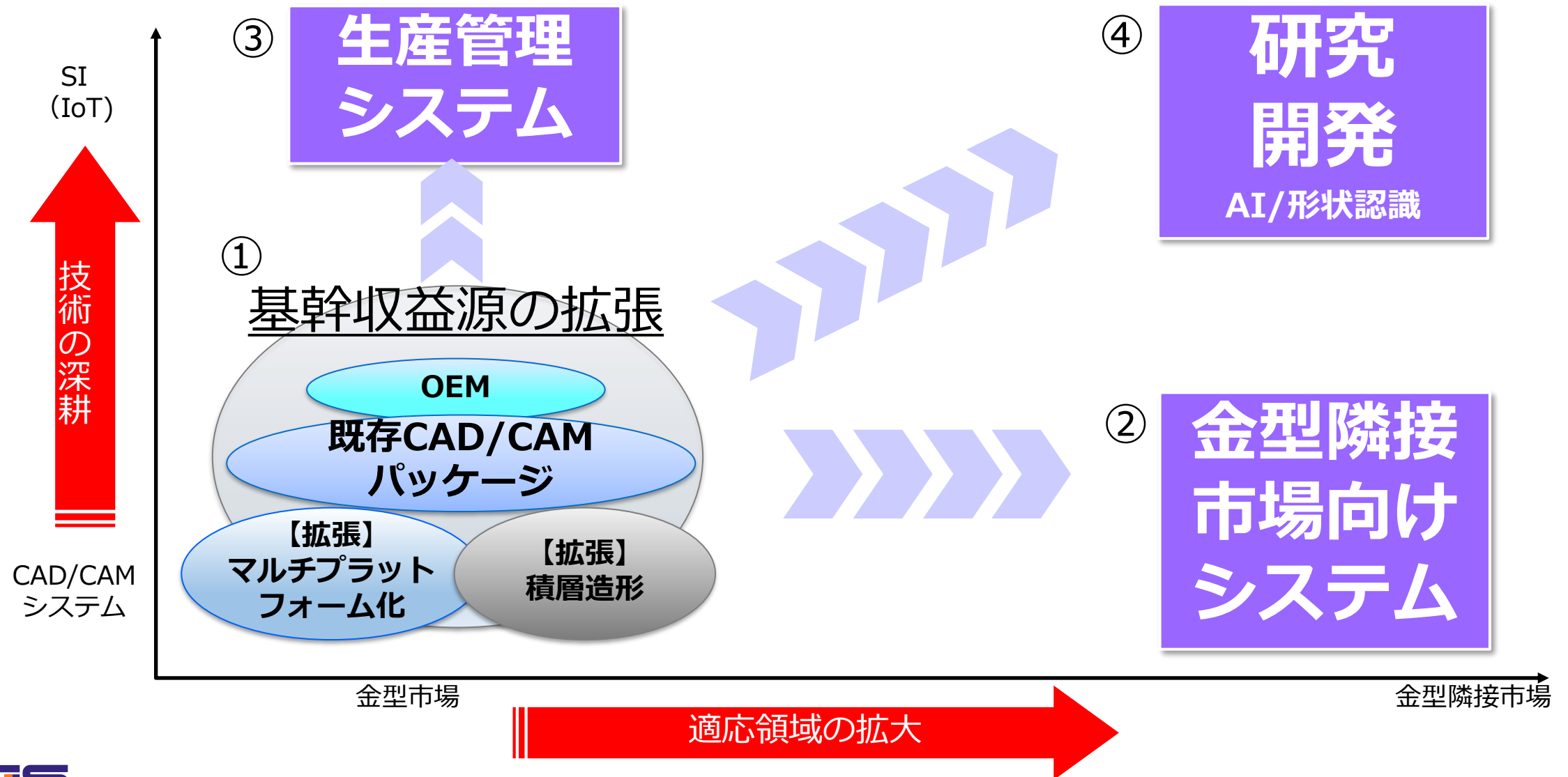
財務CF

- （減少）配当金の支払額1億79百万円

03

中長期事業方針

基本成長戦略の方向性



持続的成長への経営基盤を確立

保守事業による安定した収益構造の維持・拡張

継続的なバージョンアップによる保守更新率向上

高い保守更新率を維持

2023年12月実績 **95.4%**

シェア拡大

- OEM強化および同業他社、生産財メーカーへのCAD/CAMエンジンの提供
- CAMのマルチプラットフォーム化拡大
- 積層造形（金属/樹脂）分野の強化

NDES社へのOEM供給

- 2022年10月より開始したNDES社へのOEM供給は想定通り堅調に推移
- その他の生産財メーカー、同業他社にもOEM供給を継続、新たなOEM先、協業先を引き続き開拓

国内＋海外戦略強化

- 海外技術代理店の拡充（アセアン圏）
- 海外拠点の拡充
- 技術サポート/ユーザカスタマイズの地域完結型事業モデル構築

ベトナム進出

- ハノイにてベトナムテクニカルセンターを2023年2月に開設
- 並行して技術代理店を拡大し販路拡大に注力



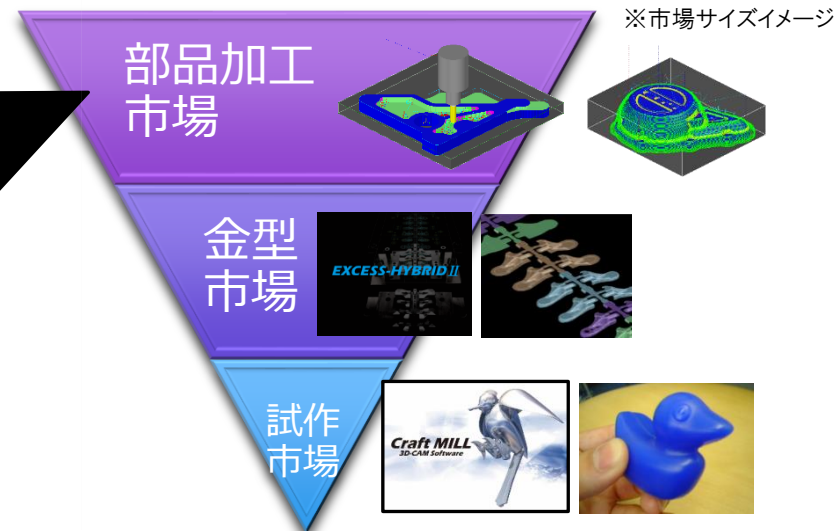
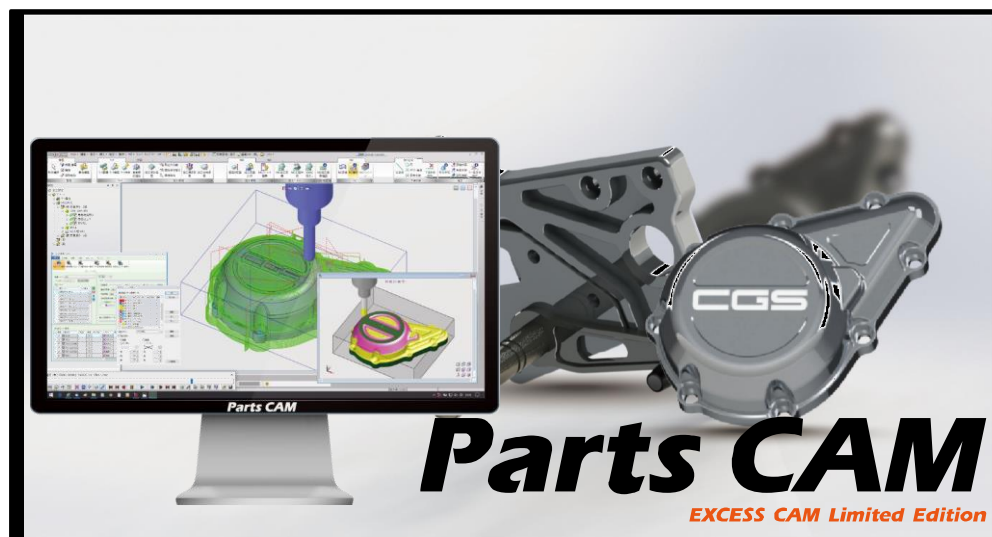
② CAD/CAM適応領域の拡大

Parts CAM

EXCESS CAM Limited Edition

～部品加工市場向け製品の展開～

- 金型加工で培った高精度なCAD/CAM資産を部品加工市場へ投入
 - ・・・ CAD/CAM事業領域の拡大⇒**部品加工市場、量産市場など新規市場開拓**



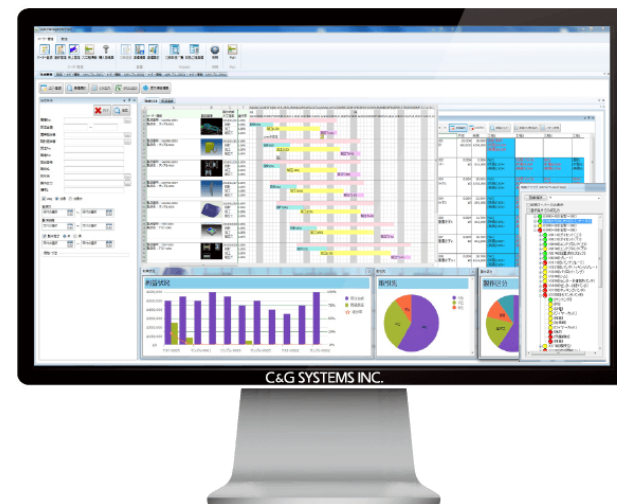
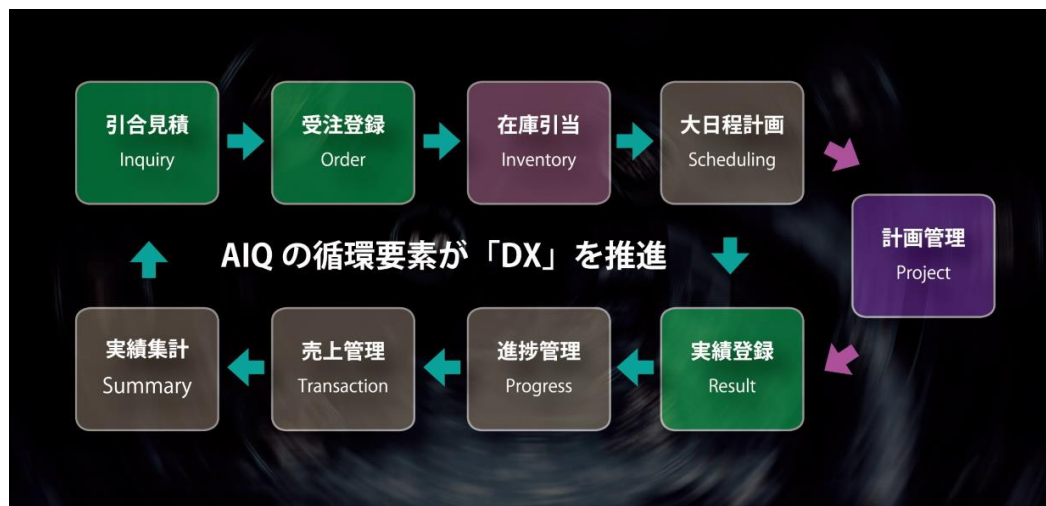
前年度との比較ではプラス推移も機能面でさらなる改良が必要
部品加工向け機能拡張を継続するほか、市場認知度向上のためのPRを推進

③技術の深耕（IoT分野への事業展開）

AIQ

～金型・部品製造業に特化した生産・工程管理システム～

- IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型・部品製造向け生産・工程管理システム」



製品販売・機能拡張ともに堅調に推移
2023年12月に「AI類似画像検索機能」を追加、クラウド対応を視野に機能開発を継続

④研究開発の推進

主力製品にAI機能を搭載し順次リリース

工場稼働の高効率化

エネルギー省力化

人材不足解消

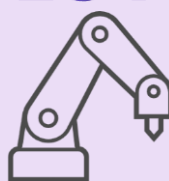
熟練工の技術伝承支援

高齢化対策

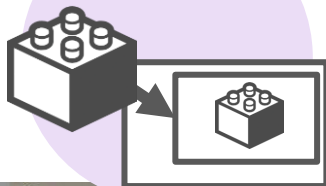
AI



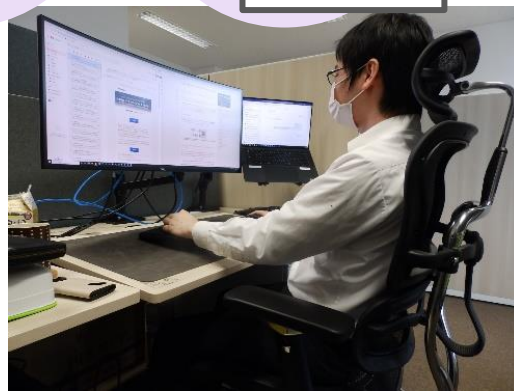
IoT



形状認識



北九州学研都市 技術開発交流センター



快適な開発環境を整備し最新技術の研究を推進

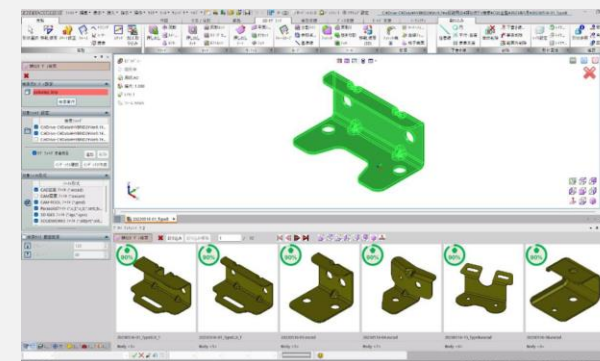
AIQ

AI類似画像検索機能
(2023年12月リリース)



EXCESS-HYBRID II

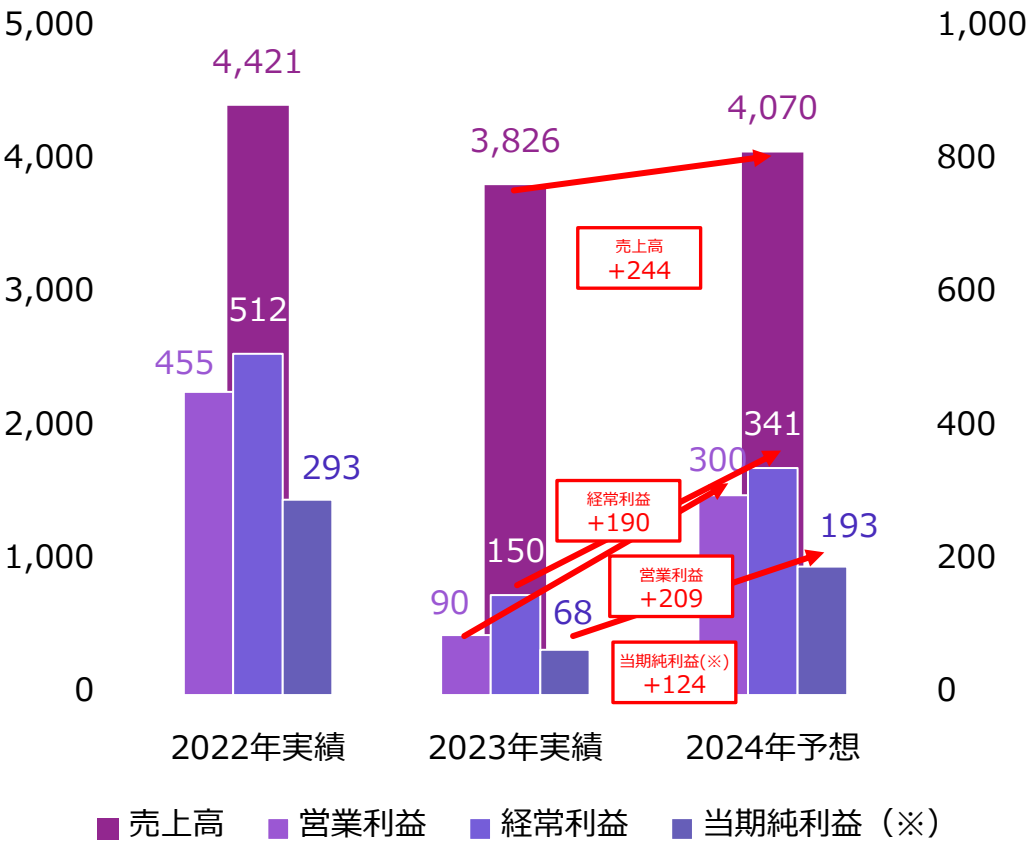
類似ボディ検索機能 (2024年2月リリース)



04

2024年12月期 通期業績見通し

コロナ前の業績水準を目指し各施策を着実に実行



(※)親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円	①2023年実績	②2024年予想	増減額	増減率
売上高	3,826	4,070	+ 244	+ 6.4%
営業利益	90	300	+ 209	+ 231.3%
経常利益	150	341	+ 190	+ 126.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	68	193	+ 124	+ 182.6%

CAD/CAMシステム等事業

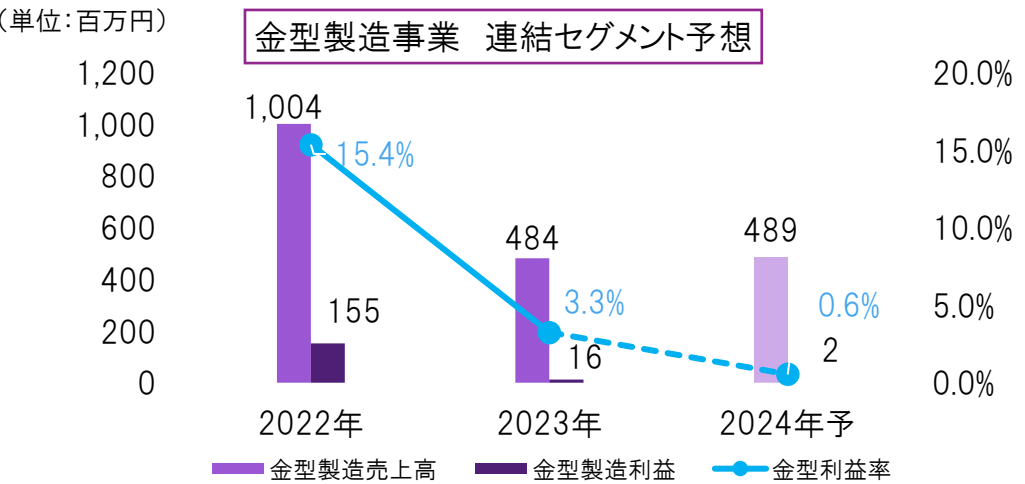
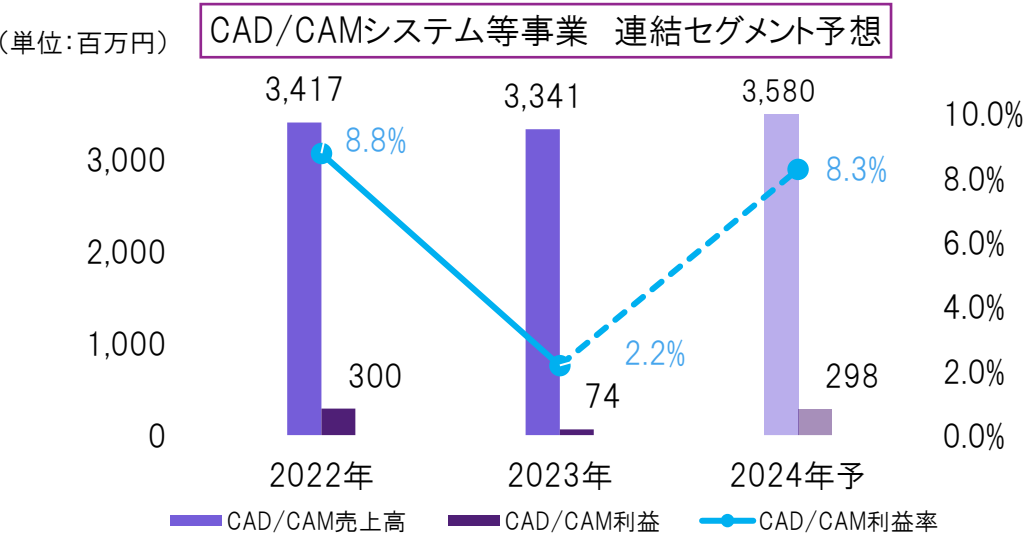
- 大手・中堅製造業の一部に設備投資意欲の持ち直しの傾向が見られることから、緩やかな回復基調で推移する見込み
- 基本成長戦略の各施策を着実に実行することで主力製品の販売強化および戦略製品の成長に取り組む

金型製造事業

- 新車種開発の動きが見られることから、中～下期にかけて受注が回復する見込み

		2023年期末	2024年度連結業績予想レート
為替レート	ドル	141.83円	145.00円
	パーツ	4.13円	3.80円
	カナダドル	107.24円	100.00円

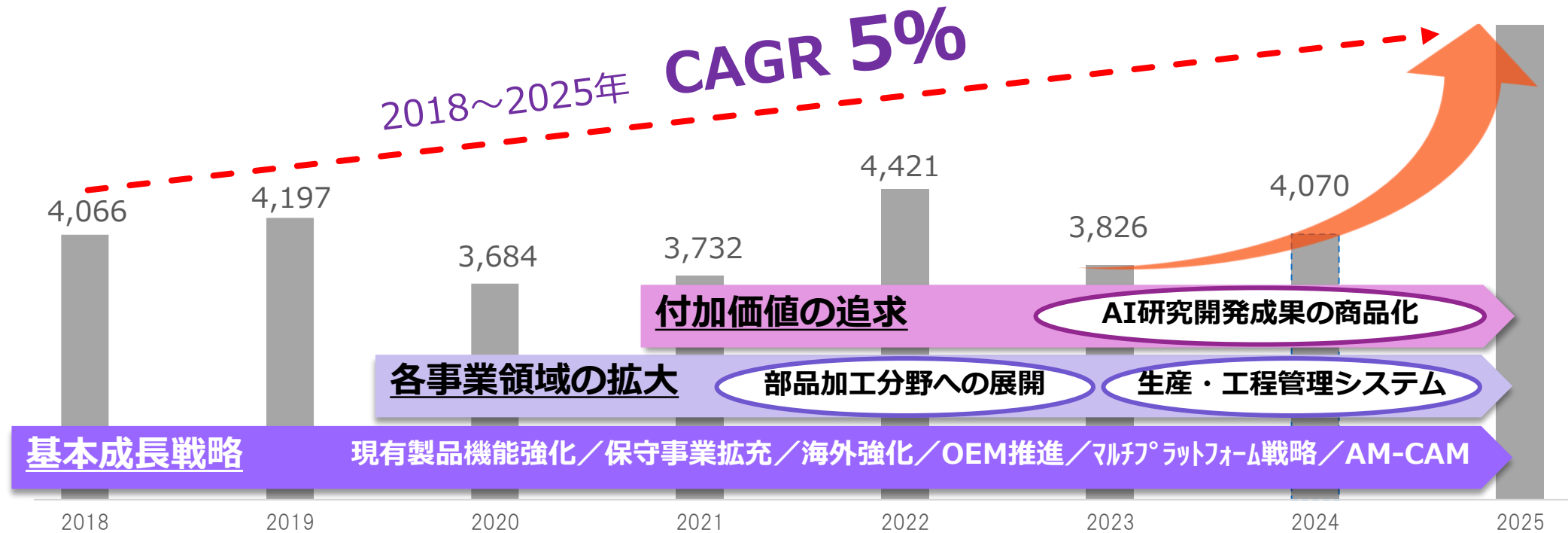
2024年12月期 連結セグメント別業績予想



科目 (百万円)	2023年 【実績】	2024年 【予想】	前年同期比
CAD/CAMシステム等事業			
売上高	3,341	3,580	+ 239
営業利益	74	298	+ 223
営業利益率	2.2%	8.3%	
金型製造事業			
売上高	484	489	+ 4
営業利益	16	2	△13
営業利益率	3.3%	0.6%	
合計			
売上高	3,826	4,070	+ 244
営業利益	90	300	+ 209
営業利益率	2.4%	7.4%	

今後の成長イメージ

【将来CGSが目指す姿】
金型・部品製造現場の最適化を支援する総合ソフトメーカーへ事業拡大



2018年の水準から
2025年に向けて

2018~2025年 CAGR
5%

2025年 経常利益率
20%

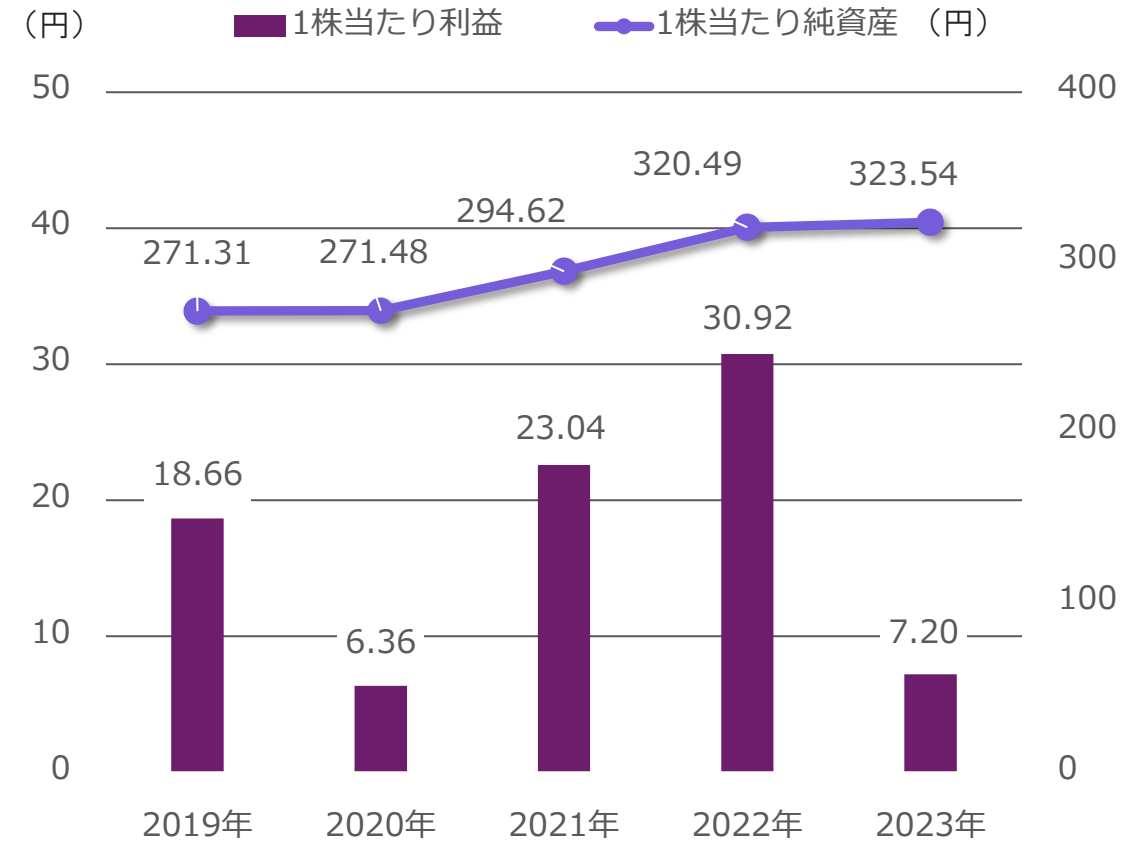
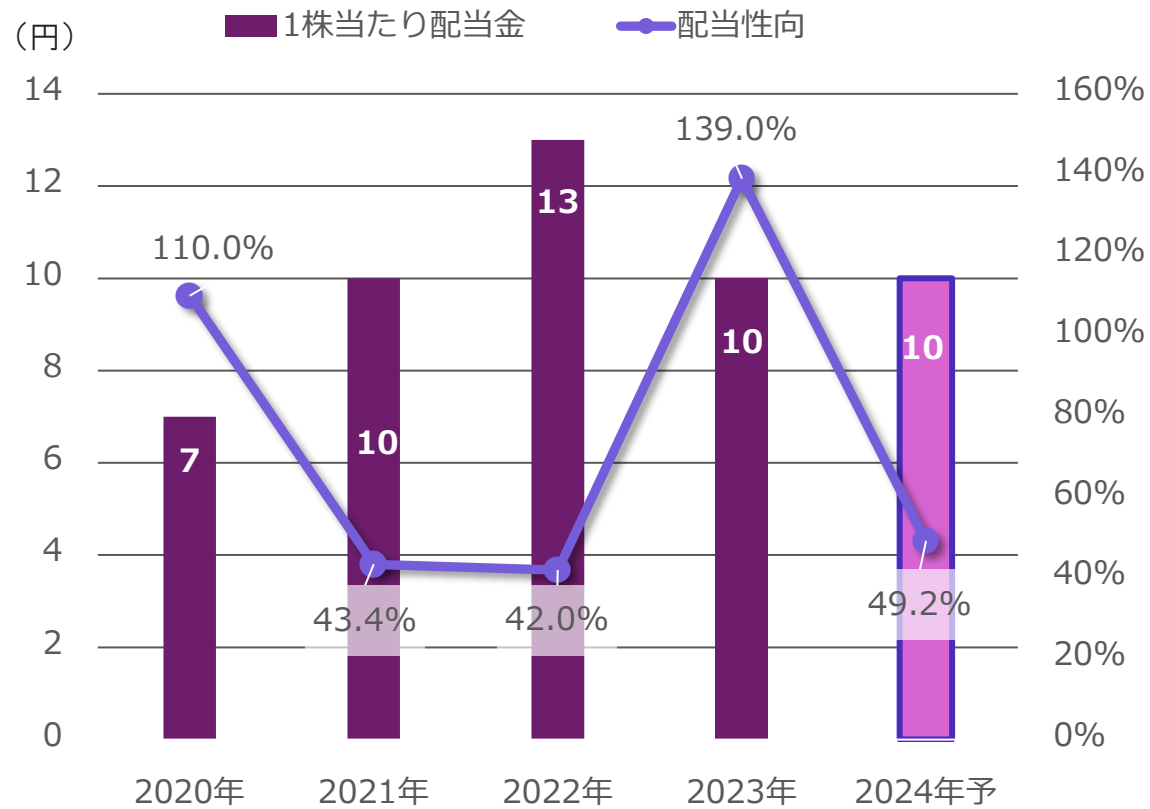
2025年 ROE
15%以上

05

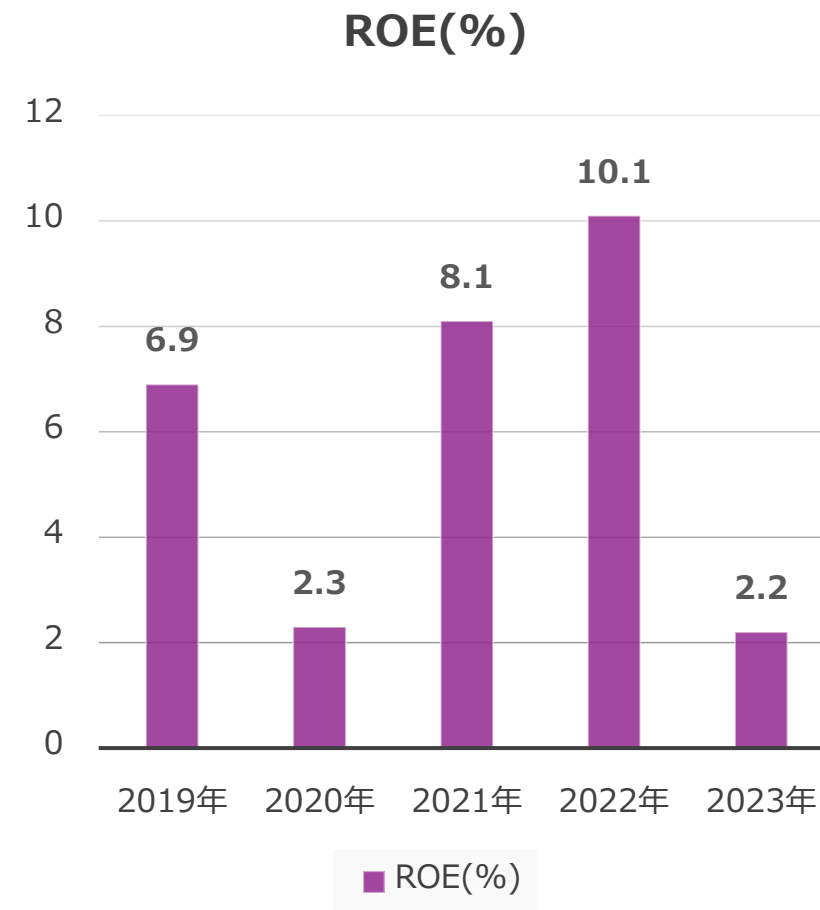
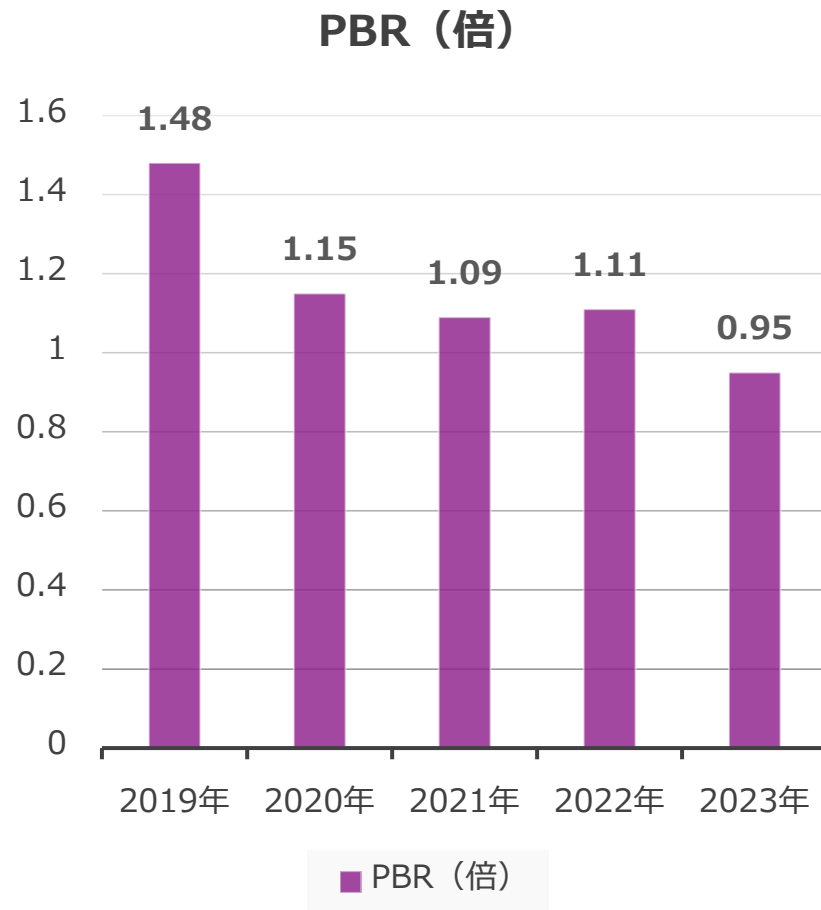
株主還元について

配当について

業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す



PBRは2023年の業績不振に伴い1倍未満へ
収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す



本資料に関する お問合せ先

株式会社C & Gシステムズ
管理部IR担当

E-mail :
cgs_ir@cgsys.co.jp

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。